



城東校区第11町内自治会と安政町商興会主催の夏祭り。三年坂音頭やそうめん流しなどが開催され、地域の交流の場の一つになっている

実は、すでにいくつかの公共施設もあることや適当な用地がなかったこと、さらには地価が高いことなどがネックとなつて、城東校区にはまだ住民活動の拠点となる地域コミュニティセンターの設置が実現していません。河野さんは「校区が一体となつて活動するためにも、拠点と

**安心なまちづくりのために 熱望する活動拠点**  
河野 さんは「かつては、宅としていた人たちが郊外に自宅を移すケースもありましたが、最近では高齢になつた方が再びふるさとの城東校区に戻つていらつしやるが増えているようです。高齢者が安心して暮らせるまちづくりには、世代を超えて人と人の輪をしつかりとつなぐことが必須」といいます。そのための地域活動にも力が入ります。



城東校区自治協議会の河野力三会長

なる場所は必要です。とくに地域の人たちがこれまで主体となつて取り組んできた防犯や防災活動を強化するためにも、コミュニティセンターの設置に向け、陳情などを通じて、ぜひ実現したいと思つています。」と話します。その他にも、城東小学校での「どんどや」や「夏祭り」、PTAや児童だけでなく地域の各種団体や企業も参加する「城東校区盆踊り大会」、商店街が主催する「ゆかた祭」、「銀杏祭」、「夏まつり」と盆踊り大会のほか、自治会を中心にした「敬老会」、「坪井川清掃活動」、「白川清掃活動」など、さまざまな活動が続きます。



地域の各種団体や企業とも連携して行われる「白川清掃」。周辺のゴミ拾い、除草などを行い、環境美化と交流活動になっている

**城東校区** (平成25年4月現在)  
人口計: 2,864人  
世帯数: 1,660世帯  
町内自治会数: 14



「Seed Market (シードマーケット)」の「Seed」とは種まきの意味。街に新しい種をまき、魅力ある街を創ろう、と実施されている。その目的の1つである空き店舗対策は、防犯上も重要な施策



繁華街でのパトロールは、住宅街でのパトロールと異なる課題も多い。環境対策や夜間パトロールが重要な活動ポイント

**商店街の活性化が安全安心を支える**  
一方、校区内の各商店街や企業が協力したさまざまなイベントが、まちを活性化するとともに、地域の一体感を高め、防犯や防災上にも一役買っています。その一つが、今年から始まつた「Seed Market (シードマーケット)」です。これは、毎月1回、城見町通りで開催される、手作り商品のショップによるマーケット。「有望なショップの中心商店街への出店を促そう」という企画です。魅力的・個性的なショップを誘致することで熊本らしいアーケード街の活性化と商店街の空き店舗減少につながつてほしいですね」と河野さん。また、商店街の若手経営者が中心となつて進める「熊本ハニープロジェクト」も実働に移っています。プロジェクト代表の長江浩史さんは「ミツバチが回



賑わいづくりと環境づくりが一体となった活動「熊本ハニープロジェクト」。繁華街のイメージアップの一環としても発信されている

遊する地域は環境が良いと言います。中心繁華街でミツバチを育てることで、ここが環境が良いところだと伝えたいんです。また、採取したはちみつを利用した商品をブランド化して、二重に、まち自体のブランド力を高めたい」と語ります。現在、ハニープロジェクトでは、ハチミツだけでなく、キャンディーやアイスを開発。今後もさまざまな商品を通して、活動を発信していく予定です。